



あすなる

有田市立保田小学校 校長室便り
令和2年6月24日発行
第5号

(文責 校長 中西和美)

☆梅雨の季節ですが・・・☆



向暑の候、青田を渡る風も爽やかな季節となりました。子どもたちは、感染症予防対策を講じた学校生活にも少しずつ慣れ、友達との間隔が上手にとれるようになってきました。これからはだんだんと暑くなり、熱中症の心配もしなくてはならない時期となります。マスク着用は今後も必要ですが、エアコンを使用したり2m以上の距離を保ってマスクを外すなどして、元気に暑さを乗り切りたいと思います。保護者の皆様におかれましては、毎朝の検温とともに手洗い励行等、健康維持へのご協力をお願いします。発熱や風邪の症状がある場合は無理をせず、自宅で静養に努めるなどお子様の健康管理を引き続きお願いいたします。

☆保田組様へマスクの御礼に行ってきました6/11(木)☆

6月9日(火)に保田中学校生徒会と小学校児童会合同会をもち、全校児童生徒代表としてのお礼の仕方を考えました。11日(木)の放課後には、お忙しいところ時間をとっていただき、保田組様に感謝の気持ちを伝えてくることができました。お伺いさせていただいたことにも喜んでいただき、子どもたちにとっては、地域の方々に支えられることを身近に感じられる大変有意義な時間となりました。



小学校児童会・中学校生徒会合同会・6/9(火)

保田組様へのお礼の挨拶・6/11(木)



《挨拶を終えて》

- 自分たちのためにマスクを配布してくださったのだから、しっかりお礼、感謝しようと思いました。今回は保田組様から小学校中学校へマスクを配布していただきましたが、今度は、小学校から地域の皆様へ役立つ物を作りたいです。(6月：上野山 大悟)
- マスクを小学校中学校にくれた人はどのような人かと思っていました。お礼に行くと、とても優しい方達でした。保田組さんのようにボランティアをして、いい町にしたいと思いました。(6月：中道 翔音)
- 行く前は、すごく緊張しました。中に入ると二人の男性の方がいました。礼儀正しくしようと決心し、緊張しながらも真面目に取り組むことができました。次は僕たちがこの保田に貢献できるように頑張りたいと思います。(6月：上野山 琢人)
- 社会が騒がしくなっている中、私たちへのマスク寄付はとても温かく感じました。保田組さんたちのように、地域に貢献できるようになりたいと思いました。私もよりよい学校になるため、副会長として学校を引っばっていきたくです。(6月：落合 結菜)
- 手紙や言葉を通して、自分の気持ちを伝えることができ良かったです。私も大人になったら、保田組さんたちのような優しい大人になりたいと思いました。このような事態がもしやってきたら、今度は、自分たちで優しさを配りたいなと思いました。(6月：児島 由伊)

ありがとうございました！



アリダ薬局様には6月上旬、和歌山県洋菓子協会会長児嶋悟様(ヒロ・マルイチ様)には6月中旬に、除菌用アルコール消毒液をいただきました。これからも感謝の気持ちを忘れず感染予防に努め、教育活動を行っていきます。